

7月15～16日の豪雨における県管理ダムの洪水調節効果(まとめ)

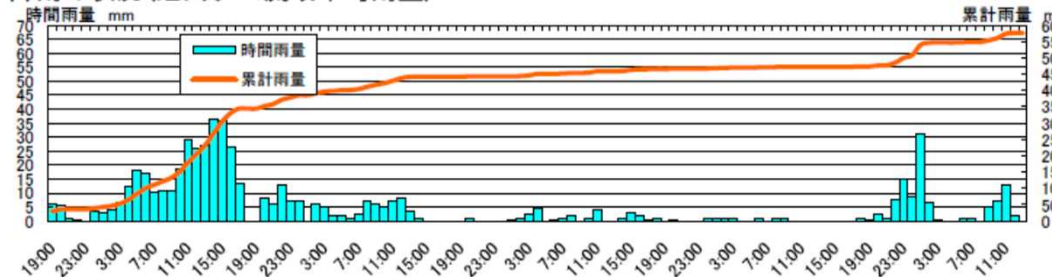
- 素波里ダム、岩見ダムで洪水調節容量では足りないと予測し、**事前放流を実施**。
素波里ダムでは、洪水調節により下流への放流量を最小限にし、**緊急放流も回避し下流への影響を最小限にした**。
岩見ダムでは、**15日の豪雨時はダムに貯留し下流水位の低減に努めた**。事前放流により、緊急放流への移行を遅らせることで、降雨が少なくなつてからの実施となり下流への影響はほとんどなかった。
- 旭川ダム、岩見ダム、萩形ダム、水沢ダム【農地防災ダム】で緊急放流が実施された。
洪水調節容量を最大限活用することで、**15日の豪雨時はダムに貯留し下流水位の低減に努めた**。その後、降雨が少なくなつてから緊急放流へ移行したことから、下流水位の影響を最小限となっている。

○ 旭川ダム【緊急放流実施】

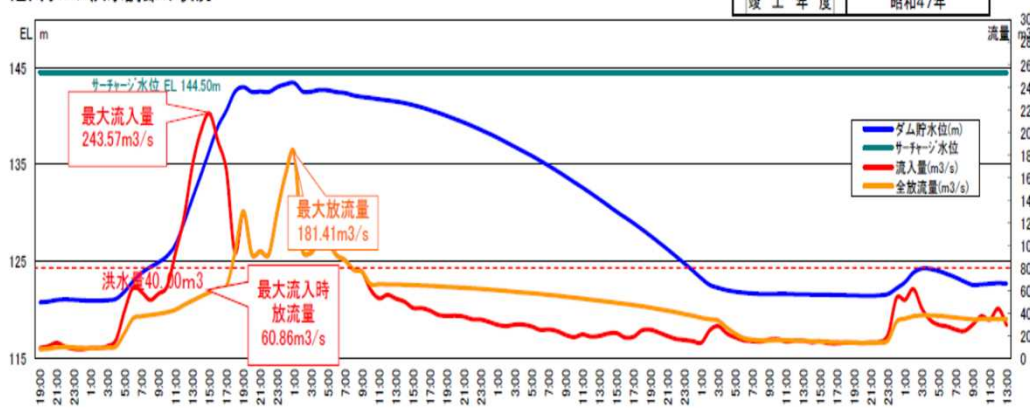
☞ 常時最低水位による管理のため、事前放流設定は無し。

☞ 洪水調節の実施により、最大流入時（降雨ピーク時）に下流への放流量の低減に努め、下流水位（中島）の**0.87m低減**に繋がったと推測する。

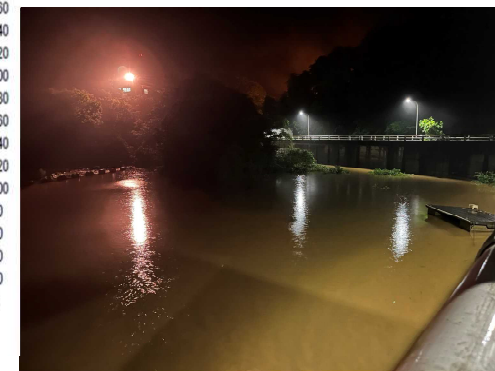
降雨の状況(旭川ダム流域平均雨量)



旭川ダム 洪水調節の状況



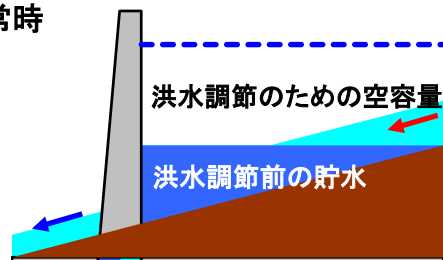
中島水位局 水位状況 (R5. 7. 14~19)



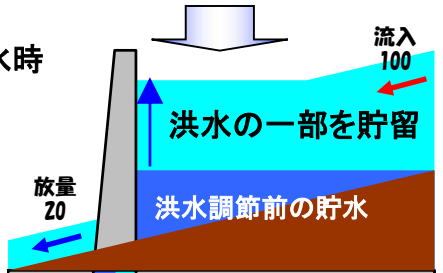
旭川ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

ダムの洪水調節機能(イメージ)

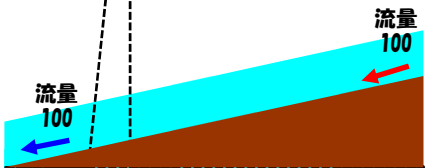
平常時



洪水時



ダムがない場合



流れている100の水は、そのまま下流に流れていきます。

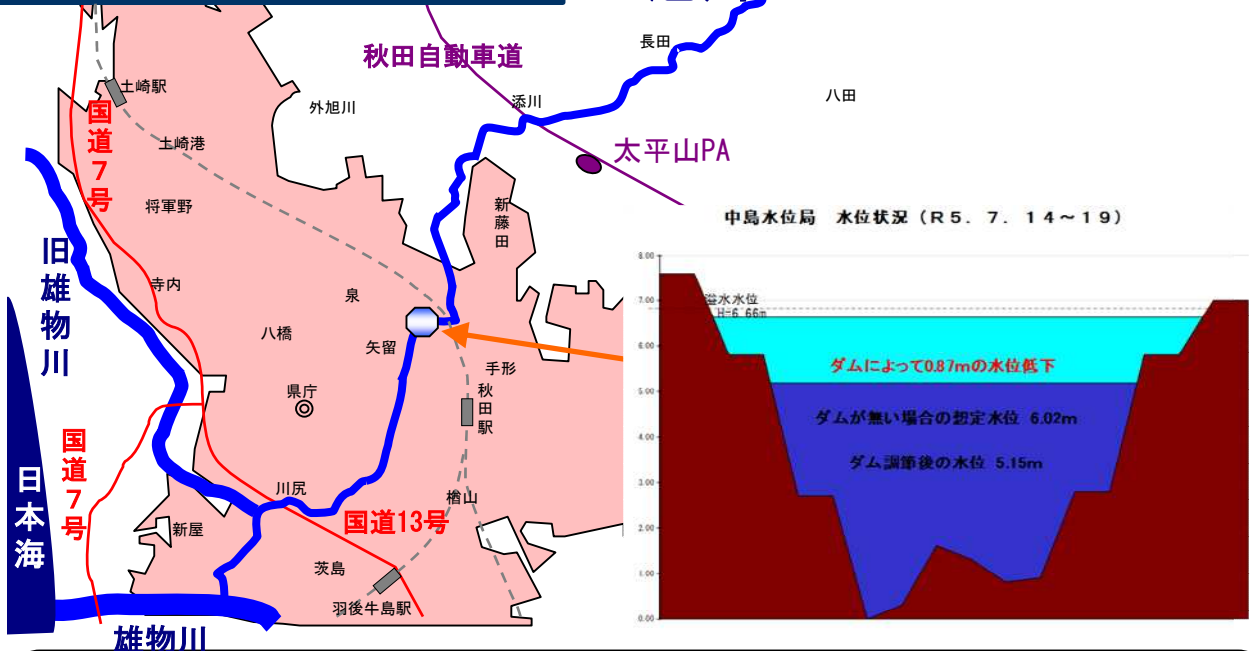
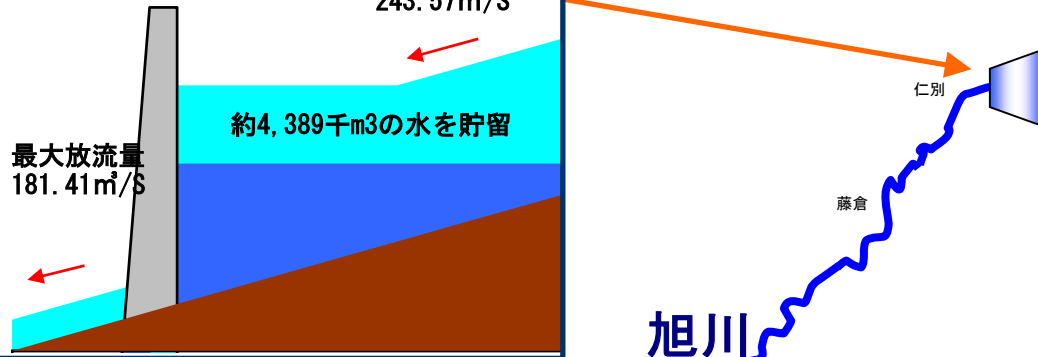
このイメージでは、ダム下流河川に流れる水量は1/5になり、洪水被害を軽減します。

旭川ダム 出水前・後の貯水状況

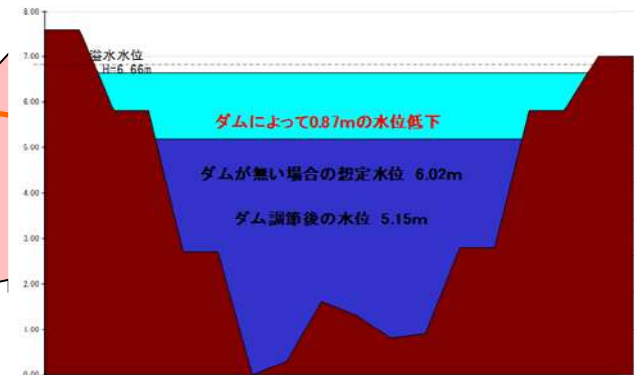
最大流入量
243.57m³/S

最大放流量
181.41m³/S

約4,389千m³の水を貯留



中島水位局 水位状況 (R5. 7. 14~19)



旭川ダムでは、7月14~19日の「梅雨前線による出水」のため、洪水調節を行いました。約4,389千m³の洪水をダムに貯留し、ダム下流の旭川に流れる水量を少なくしました。また、今回の大雨は、ダムに貯留できる限界を超える出水となったことから、7月15日17時22分から7月16日10時02分の期間において、ダムへの流入量と同じ量を放流する緊急放流(異常洪水時防災操作)を実施しました。

旭川ダムの洪水調節効果【秋田県】（速報）

別紙

概況

※今後の調査により数値等が変わる場合があります。

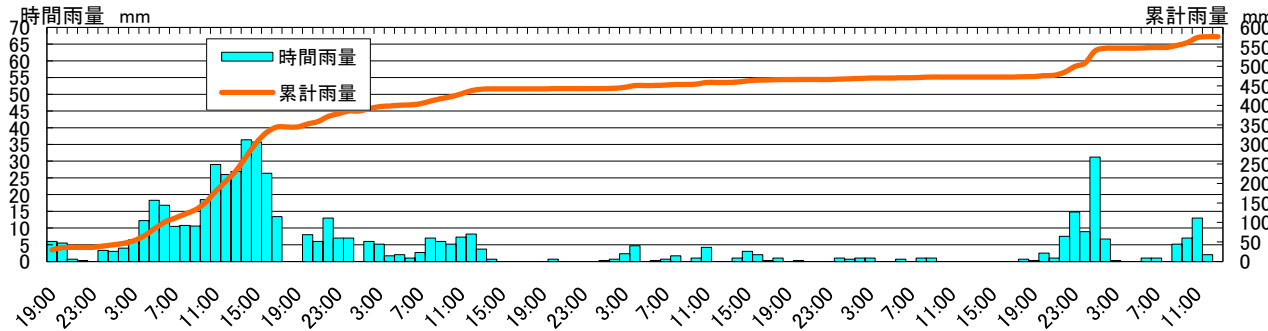
旭川ダムでは7月14～19日の「梅雨前線による出水」のため洪水調節を行いました。

降雨の状況は、流域平均の最大時間雨量36.4mm、累計雨量は576.2mmとなり、旭川ダムにおける最大流入量は243.57m³/sまで上昇しました。

洪水調節の結果、約4,389千m³の水をダムに貯留し、旭川の水位を87cm下げることができました。

また、今回の大雨は、ダムに貯留できる限界を超える出水となったことから、7月15日17時22分から7月16日10時02分の期間において、ダムへの流入量と同じ量を放流する緊急放流（異常洪水時防災操作）を実施しました。

降雨の状況(旭川ダム流域平均雨量)



旭川ダム諸元

河川名	雄物川水系 旭川
型式	重力式コンクリートダム
堤高	51.5m
堤長	380.0m
提体積	125,000m ³
集水面積	34.4km ²
湛水面積	0.35km ²
有効貯水量	4,200千m ³
サーチャージ水位	EL. 144.50m
洪水流量	40m ³ /s
竣工年度	昭和47年

旭川ダム 洪水調節の状況

